

部門へのご要望・ご質問についてのQ & A集

～会員調査2019より～

日本理学療法士学会

ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門

部門へのご意見・ご要望

2019年度に実施した会員調査において、96名の方から自由記載でコメントを頂きました。

- 内訳)・すでに実践している人 35名
 - ・実践予定のある人 4名
 - ・実践したいと思っている人 55名
 - ・実践する予定はない人 2名

アンケートや運営について、厳しいご意見を頂きました点につきましては、真摯に受け止め、今後の活動に反映させて参ります。

頂きました貴重なコメントから、いくつかの主要なご質問、ご要望に対して回答させて頂きます。

質問：がん後遺症としてのリンパ浮腫治療は、がん
・徒手理学療法・ウィメンズのどれに該当する
のでしょうか。

回答：いずれの学会・部門にも該当する分野です。
ウィメンズヘルス、メンズヘルスの領域は、少なからず他の領域と重なる部分がありますので、今後の
学術集会等の中で、当該領域が協力して対応できる
ように情報共有を図る必要があると考えます。

要望：各種研修会の開催を増やして欲しい

回答： 当部門の位置づけは、学術活動を主体とする日本理学療法士学会所属となっております。

協会全体の方向性として、職能※1と学術※2を大別して発展させることが打ち出されており、今後、日本理学療法士学会所属の学会と部門は、より学術活動を重視する法人格を持った学会を組織して活動する流れになっています。

当部門でも、エビデンス構築を目指した研修会を継続して開催する予定ですが、職能関係の研修会の開催は、協会が生涯学習として実施する方向性が示されています。

今後の協会、部門からの情報発信にご注目下さい。

要望：地方でも研修会を開催して欲しい

回答： 今後の部門主催の研修会は、東日本と西日本の2カ所での開催を予定しています。

また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、2020年度はオンラインでの開催となります。

今後も、ハイブリッド(対面とオンライン)形式の研修会を計画し、地方の方にも参加して頂きやすい環境を作っていきたいと考えております。

質問：なぜアンケートで学歴を聞いたのか？

回答： 今後の学術活動※を活発化していく上で、大学院での博士・修士を取得された方の研究活動の実績を、是非部門の運営に役立てさせて頂きたいと考え、大学院への進学状況について確認させて頂きました。

協会全体の流れとして、学術団体としての活動を求められているため、多くの会員の皆様の研究活動が、今後より重要になってまいります。部門としても研究活動をサポート出来るように研修会等を企画する予定です。是非ご協力ください。